

## 「S1p089R06.bas」

1. ファイル名 : J i s F u l l B A S I C

ユーザープログラム 「S1p089R06.bas」

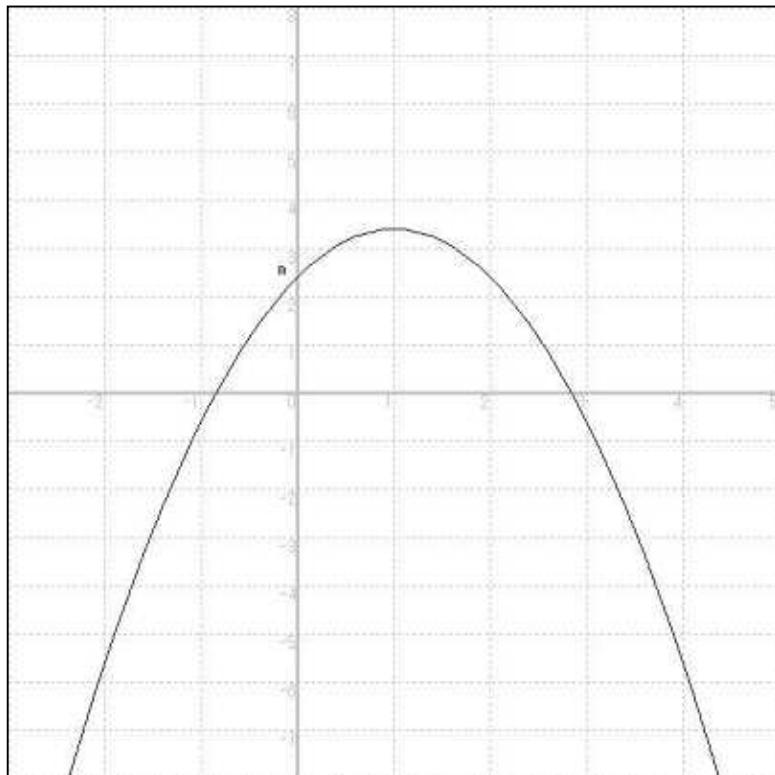
2. 対応分野 : 数研出版 数学 p 89 2次関数のグラフと  $x$  軸の関係

応用例題 6 2次関数  $y = -x^2 + 2x + m$  のグラフと  $x$  軸の共有点の個数は, 定数  $m$  の値によってどのように変わるか。

3. 実 行 : J i s F u l l B A S I C 起動後, 「開く」 「実行」と操作すると

(1)  $m = -1$  (既定値) の場合の関数  $y = -x^2 + 2x + m$  のグラフが表示される。

4. 操 作 :



(1) [↑] [↓] キーで図の  $m$  を上下に移動させることができる。

(2) [Enter] キーで作業を終了する。

5. 目 的 :

(1)  $m$  の値に応じて, グラフを上下させ,  $x$  軸の関係を理解させる。この例題では, 軸が固定していることなども, 理解させる。

6. 利用時期 :

(1) 応用例題 6 (p 89) 指導時

定数  $m$  を変化させること, すなわち, グラフの上下と関数の値の最大の関係を指導する。

(2) 指導後の追認作業として用いても良い。

(3) 練習 29 2次関数  $y = x^2 - x + m$  のグラフと  $x$  軸の共有点の個数は, 定数  $m$  の値によってどのように変わるか。 (「S1p089RS29.bas」)